

13

日本手話に現れる節末の指差し動作は空話題を指すか

内堀朝子\*、今西祐介\*\*

(日本大学\*, 関西学院大学\*\*)

要旨

本発表では、日本手話（以後 JSL）において節末の位置に随意的に現れる指差し動作（以後 PT）を取り上げ、これが空話題を指すかどうかについて検討を行う。Hara and Kurosaka (2013) および Hara, Kobayashi and Uchibori (2014) によれば、JSL では、オランダ手話 (Crasborn et al. 2009) など他の手話と同様に、節末の PT が文の話題を指すことができる。JSL では、話題句は(1)に示されるように、眉毛を上げ、頭で頷いたあとに短いポーズを置く動作から成る話題を示す非手指標識が付随しなければならない。

- (1) (ビデオデータの書き起こしは Oka and Akahori (2011: 73 (1)) に対応する) ; <https://www.youtube.com/embed/MBjP-Md8zyY?rel=0 and showinfo=1>)

\_\_\_\_TOPIC

OTOKO ONNA SUKI PT<sub>3(OTOKO)</sub>

MAN WOMAN LIKE PT<sub>3(MAN)</sub>

‘彼は彼女が好きだ。’ (訳出は Oka and Akahori の日本語訳による)

Huang (1984) は、中国語のようないくつかの口話では文で話題句を省略することができる」と論じている。この点において JSL が中国語のパターンを取るならば、上記の(1)の *OTOKO* ‘男性’ のような話題は適切な文脈においては省略でき、かつ節末の PT によって指示されることになる。本発表はこの仮説が正しいかどうかを検証することを目的とする。

Uchibori (2016) はこの問題を解く重要な手がかりを与えている。彼女は項も、話題の非手指標識によって標示された話題も指さない節末の PT を含むいくつかの例について議論を提起した。例えば以下の文について考察されたい。

- (2) \_\_\_\_RS

FUNE HOUDAN<sub>CL</sub> SHIZUMU<sub>CL</sub> PT<sub>3(ABOVE THE RIGHT SHOULDER)</sub>

SHIP CANNONBALL<sub>CL</sub> SINK<sub>CL</sub> PT<sub>3(ABOVE THE RIGHT SHOULDER)</sub>

‘船が航行していた。大砲がその船を打った。そして船は攻撃を企て命令した何者かによって沈められた。’

節初頭の要素である *FUNE* ‘船’ は、述語である *SHIZUMU* ‘沈む’ の項であり、いわゆるロールシフト (RS) を指す非手指標識によって、この例では目を細める動作で表現されるもので標示されている。分節末の PT は手話話者の右肩の上あたりを指す。この PT の指示対象は、話者にとっては未知の、攻撃を企て指揮した誰かと解釈される。Bruening (2013) は自然言語において受け身を同定する性質の 1 つは、外項が現れないことで、*someone* (誰か=暗示された

動作主) のような存在と解釈されることであるとしている。Imanishi Yusuke (私信)、Uchibori (2016) に従えば、(2)の JSL の例は節末の PT が船を沈めるというイベントの暗示的な動作主である誰かを指すと解釈されるため、受け身である可能性が示唆される。これは Bruening (2013) の一般に合致するように見える。

しかし、本発表では、上記(2)の例は空話題を含み、これは攻撃の裏の指導者と解釈されうる可能性を指摘する。すなわち、話題が省略可能な適切な(つまり話題が暗示的に存在するような)文脈においては、節末の PT は実際には空話題を指すと想定することが可能である。このことは、Uchibori (2016) に提示された受け身の分析を完全に否定するものではない。我々がここで示したいのは、JSLにおける節末の PT が正確に何を指示するのかを調べるために、どのような文脈において(2)のような文が適切に使用されるのかを、なお一層探求することが不可欠であるということである。今後もさらに関連のデータを調査して、節末の PT が適切な文脈において話題と解釈される空要素を指す可能性について精査したい。

## 参考文献

- Bruening, Benjamin. 2013. *By phrases in passives and nominals*. *Syntax* 16: 1-41.
- Crasborn, Onno, Els Van Der Kooij, R. Johan, and Helen De Hoop. (2009). Topic agreement in NGT (Sign Language of the Netherlands). *The Linguistic Review* 26: 355-370.
- Hara, Daisuke and K. Michiyo. 2013. *Nihonshuwa no bunmatsu yubisashi ga sasisemusu mono wa nanika*. [What clause-final finger pointing in JSL refers to]. Paper presented at the 39th annual meeting of the Japanese Association for Sign Language Studies. Mie University.
- Hara, Daisuke., Y. Kobayashi, and A. Uchibori. 2014. *Nihonshuwa no bunmatsu yubisashi ni kansuru ichi kousatsu – aboutness topic wo fukumu bun niokeru bunmatsu yubisashi wo chuushin ni*. [A discussion on clause-final finger pointing in JSL: Focusing on clause-final finger pointing in a sentence with an aboutness topic]. Paper presented at the 40th annual meeting of the Japanese Association for Sign Language Studies. Tower Hall, Funabori.
- Huang, C-T. James. 1984. On the distribution and reference of empty pronouns. *Linguistic Inquiry* 15: 531-574.
- Oka, Norie and H. Akahori. 2011. *Bunpoo ga kiso kara wakaru Nihon Shuwa noshikumi*. [The structure of Japanese Sign Language: Understanding the grammar from the basics]. Tokyo: Taishuukan Shoten.
- Uchibori, Asako. 2016. What does clause-final finger pointing refer to in JSL? Paper presented at the 5th meeting of Signed and Spoken Language Linguistics. National Museum of Ethnology.